

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2013年12月6日設定）	
運用方針	豪ドル債券インカムマザーファンド受益証券への投資を通じて、主として高格付の豪ドル建ての公社債に実質的な投資を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビーファンド	豪ドル債券インカムマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	豪ドル建ての公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	
	分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）	

運用報告書（全体版）

三菱UFJ
豪ドル債券インカムオープン
（年1回決算型）

愛称：夢実月



第12期（決算日：2025年3月10日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、お手持ちの「三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン（年1回決算型）」は、去る3月10日に第12期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先	
お客さま専用 フリーダイヤル	0120-151034 （受付時間：営業日の9:00～17:00、 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。	

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近５期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 騰 落 中 率			
	円		円	%	%	%	百万円
８期(2021年３月８日)	10,527		0	23.7	96.3	△1.5	2,705
９期(2022年３月８日)	10,294		0	△ 2.2	97.0	△4.5	2,078
10期(2023年３月８日)	10,645		0	3.4	97.3	—	1,753
11期(2024年３月８日)	11,745		0	10.3	97.7	—	1,564
12期(2025年３月10日)	11,485		0	△ 2.2	96.9	—	1,389

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落	率		
(期 首)	円		%	%	%
2024年３月８日	11,745	—	—	97.7	—
３月末	11,857		1.0	97.0	—
４月末	12,232		4.1	97.8	—
５月末	12,411		5.7	97.5	—
６月末	12,798		9.0	97.8	—
７月末	12,010		2.3	97.2	—
８月末	12,034		2.5	97.4	—
９月末	12,099		3.0	94.8	—
10月末	12,236		4.2	98.0	—
11月末	11,966		1.9	97.4	—
12月末	12,075		2.8	98.0	—
2025年１月末	11,795		0.4	96.8	—
２月末	11,511		△2.0	95.9	—
(期 末)					
2025年３月10日	11,485		△2.2	96.9	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

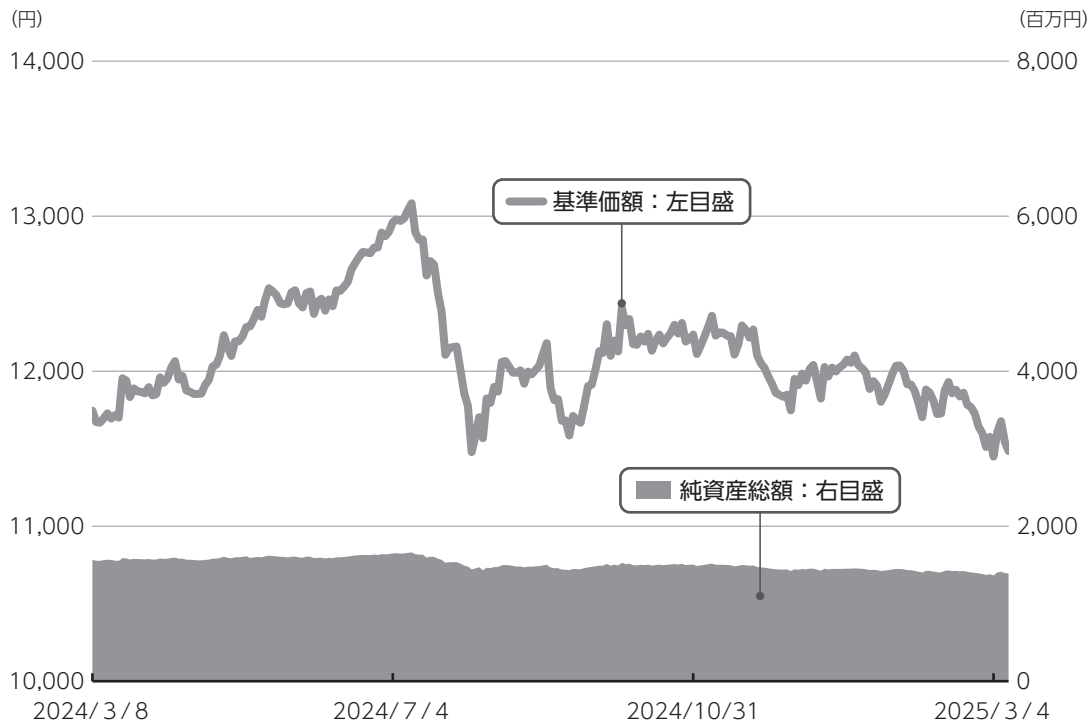
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第12期：2024年3月9日～2025年3月10日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第12期首	11,745円
第12期末	11,485円
既払分配金	0円
騰落率	-2.2%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ2.2%の下落となりました。

基準価額の主な変動要因

下落要因

豪ドルが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

第12期：2024年3月9日～2025年3月10日

投資環境について

▶ 債券市況

豪州金利は、上昇しました。

期間の前半においては、米国で消費者物価指数（ＣＰＩ）が市場予想比上振れるなど、インフレへの懸念を背景に、豪州金利も上昇する局面がありましたが、その後、豪州でＣＰＩの伸びが市場予想を下回ったことで、豪州準備銀行（ＲＢＡ）による追加利上げへの警戒感が弱まったことや、米国で軟調な経済指標が発表されたことなどを背景に、豪州金利は低下しました。

期間の後半においては、ＲＢＡが2024年12月金融政策決定会合で引き締め姿勢を緩和したことを背景に、短中期ゾーン中心に金利が低下する局面もありましたが、米国および豪州で雇用統計が市場予想を上振れるなど労働市場の底堅さが確認されたことや、米連邦公開市場委員会（ＦＯＭＣ）で今後の利下げについて慎重な姿勢が示されたことなどから豪州金利は上昇しました。

なお、ＲＢＡは2025年2月中旬の理事会で基調的なインフレの鈍化などから利下げ実施を決定しました。

▶ 為替市況

豪ドルは対円で下落しました。

期間の前半において、豪州準備銀行（ＲＢＡ）が政策金利を高水準に維持する一方、日銀が金融政策の正常化を慎重に進めていることなどから、本邦との金融政策の格差が意識され、豪ドルは対円で上昇しましたが、その後、日銀が2025年1月の金融政策決定会合で追加利上げを実施したことなどから、期間を通じて見ると豪ドルは対円で下落しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 三菱ＵＦＪ 豪ドル債券インカムオープン（年１回決算型）

主要投資対象である豪ドル債券インカムマザーファンド受益証券への投資を通じて、豪ドル建ての信用度の高い公社債を高位に組み入れた運用を行いました。

▶ 豪ドル債券インカムマザーファンド

期間を通じて、豪ドル建ての債券現物の組入比率は高位を維持しました。

デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

ファンド全体のデュレーションは、豪州や米国などの金融政策、インフレ動向などを注視しながら操作しました。結果、期間末のデュレーションは2.9年程度となっています。

残存期間構成

イールドカーブの傾きに注目するとともに、デュレーションを短期化する局面では短期ゾーンの組入比率を高めとし、長期化する局面では中長期ゾーンの組入比率を高めとしました。

債券種別構成

豪州国債に対する相対的なスプレッド（利回り格差）動向を睨みながら、債券種別構成を調整しました。当期間は、国債の組入比率を引き下げ、非国債の組入比率を引き上げました。

＞ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

＞ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第12期 2024年3月9日～2025年3月10日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	3,455

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ 三菱ＵＦＪ 豪ドル債券インカムオープン（年１回決算型）

豪ドル債券インカムマザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ち、マザーファンドのポートフォリオの構成に近づけた状態を維持する方針です。

▶ 豪ドル債券インカムマザーファンド組入比率

安定した利子収益の確保をめざし、引き続き債券現物の高位組み入れを維持する方針です。

デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

豪州の金融政策の方向性、グローバルな景気・インフレ動向を睨みながら、機動的に操作する方針です。

残存期間構成

デュレーションを長期化する局面では中長期ゾーンを、短期化する局面では短期ゾーンの組入比率を高めとする方針です。

債券種別構成

国債に対する相対的なスプレッド（利回り格差）動向や市場のボラティリティ変動要因などに注視し、必要に応じて組入比率を調整する方針です。

2024年３月９日～2025年３月10日

1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a)信 託 報 酬	141	1.161	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（期中の日数÷年間日数）
（ 投 信 会 社 ）	(64)	(0.526)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(70)	(0.580)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(7)	(0.055)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)そ の 他 費 用	2	0.014	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.010)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	143	1.175	

期中の平均基準価額は、12,104円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

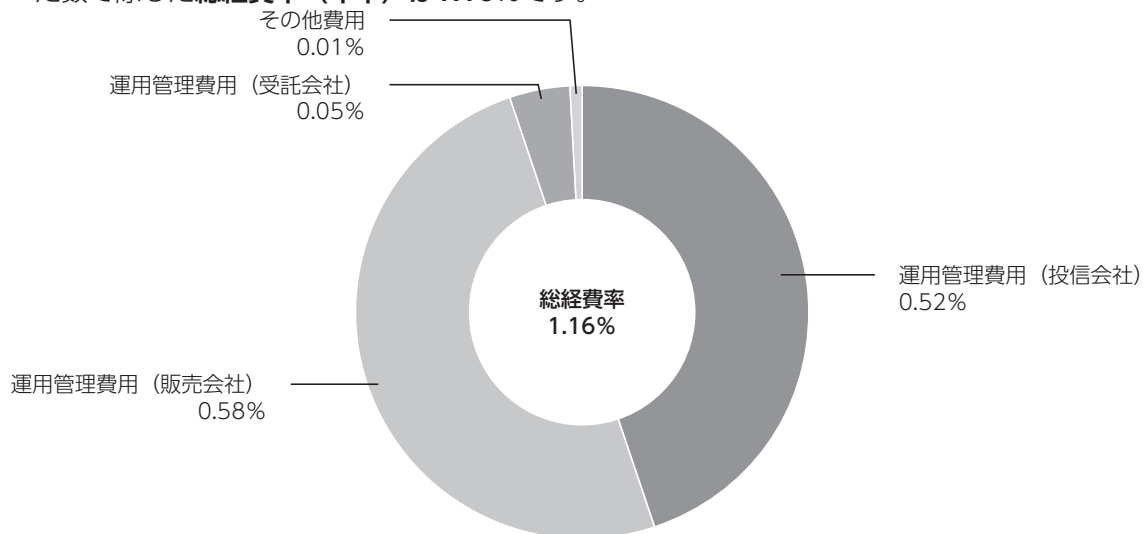
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.16%**です。



（注）費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

（注）各比率は、年率換算した値です。

（注）前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況 (2024年3月9日～2025年3月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
豪ドル債券インカムマザーファンド	43,289	58,651	163,203	225,402

○利害関係人との取引状況等 (2024年3月9日～2025年3月10日)

利害関係人との取引状況

<三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン（年1回決算型）>
該当事項はございません。

<豪ドル債券インカムマザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 7,286	百万円 3,124	% 42.9

平均保有割合 3.8%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細 (2025年3月10日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
豪ドル債券インカムマザーファンド	1,168,038	1,048,124	1,385,724

○投資信託財産の構成

(2025年3月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
豪ドル債券インカムマザーファンド	千円 1,385,724	% 99.1
コール・ローン等、その他	11,886	0.9
投資信託財産総額	1,397,610	100.0

(注) 豪ドル債券インカムマザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（35,052,508千円）の投資信託財産総額（35,888,569千円）に対する比率は97.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=93.00円			
--------------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年3月10日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,397,610,529
コール・ローン等	11,788,454
豪ドル債券インカムマザーファンド(評価額)	1,385,724,762
未収入金	97,164
未収利息	149
(B) 負債	8,463,587
未払解約金	8
未払信託報酬	8,434,716
その他未払費用	28,863
(C) 純資産総額(A－B)	1,389,146,942
元本	1,209,580,713
次期繰越損益金	179,566,229
(D) 受益権総口数	1,209,580,713口
1万円当たり基準価額(C／D)	11,485円

<注記事項>

- ①期首元本額 1,332,226,486円
 期中追加設定元本額 85,098,905円
 期中一部解約元本額 207,744,678円
 また、1口当たり純資産額は、期末11,485円です。

②分配金の計算過程

項 目	2024年3月9日～ 2025年3月10日
費用控除後の配当等収益額	32,192,284円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	191,473,532円
分配準備積立金額	194,347,623円
当ファンドの分配対象収益額	418,013,439円
1万円当たり収益分配対象額	3,455円
1万円当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

○損益の状況（2024年3月9日～2025年3月10日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	17,527
受取利息	16,726
その他収益金	812
支払利息	△ 11
(B) 有価証券売買損益	△ 15,317,280
売買益	7,121,361
売買損	△ 22,438,641
(C) 信託報酬等	△ 17,632,743
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△ 32,932,496
(E) 前期繰越損益金	194,347,623
(F) 追加信託差損益金	18,151,102
(配当等相当額)	(191,315,316)
(売買損益相当額)	(△173,164,214)
(G) 計(D＋E＋F)	179,566,229
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G＋H)	179,566,229
追加信託差損益金	18,151,102
(配当等相当額)	(191,473,532)
(売買損益相当額)	(△173,322,430)
分配準備積立金	226,539,907
繰越損益金	△ 65,124,780

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*三菱ＵＦＪアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お 知 ら せ】

①東京証券取引所の取引時間の延伸に伴い、申込締切時間の変更を行いました。詳細は、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）から当該ファンドページの目論見書をご覧ください。

（2024年11月5日）

②信託報酬体系変更のお知らせ

販売会社ごとに対象ファンドの純資産残高を合算し、その残高合計に応じて配分する段階制の料率から、各社配分を一定料率とする信託報酬体系に変更しました。

なお、本件変更は信託報酬率を変更するものではありません。

詳細は、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）から当該ファンドページのお知らせをご覧ください。

豪ドル債券インカムマザーファンド

《第12期》決算日2025年3月10日

〔計算期間：2024年3月9日～2025年3月10日〕

「豪ドル債券インカムマザーファンド」は、3月10日に第12期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第12期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	主として高格付の豪ドル建ての公社債に投資を行います。 投資にあたっては、オーストラリアの国債、政府機関債、A A ー格相当以上の格付を有する州政府債および政府保証債等、ならびにオーストラリア以外のA A ー格相当以上の格付を有する政府機関債および国際機関債等に分散投資を行います。 運用にあたっては、ポートフォリオの平均デュレーションを1年以上5年以内とします。 デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	豪ドル建ての公社債を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 総 資 産 額
		期 騰 落 中 率			
	円	%	%	%	百万円
8期(2021年3月8日)	11,558	25.2	96.5	△1.6	73,999
9期(2022年3月8日)	11,433	△1.1	97.2	△4.5	54,848
10期(2023年3月8日)	11,967	4.7	97.6	—	47,100
11期(2024年3月8日)	13,363	11.7	98.0	—	42,536
12期(2025年3月10日)	13,221	△1.1	97.2	—	35,117

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準	価 額	債 組	入 比	券 率	債 先	物 比	券 率
				騰 落 率						
(期 首)			円	%			%			%
		2024年 3 月 8 日	13,363	—			98.0			—
		3 月末	13,501	1.0			97.2			—
		4 月末	13,943	4.3			98.0			—
		5 月末	14,161	6.0			97.8			—
		6 月末	14,617	9.4			98.0			—
		7 月末	13,729	2.7			97.5			—
		8 月末	13,770	3.0			97.7			—
		9 月末	13,856	3.7			95.1			—
		10 月末	14,028	5.0			98.3			—
		11 月末	13,730	2.7			97.7			—
		12 月末	13,869	3.8			98.2			—
		2025年 1 月末	13,560	1.5			97.1			—
		2 月末	13,245	△0.9			96.2			—
(期 末)										
		2025年 3 月10日	13,221	△1.1			97.2			—

(注) 騰落率は期首比。
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ1.1%の下落となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(下落要因)

豪ドルが対円で下落したことが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎債券市況

- ・豪州金利は、上昇しました。
- ・期間の前半においては、米国で消費者物価指数（CPI）が市場予想比上振れるなど、インフレへの懸念を背景に、豪州金利も上昇する局面がありました。その後、豪州でCPIの伸びが市場予想を下回ったことで、豪州準備銀行（RBA）による追加利上げへの警戒感が弱まったことや、米国で軟調な経済指標が発表されたことなどを背景に、豪州金利は低下しました。

- ・期間の後半においては、RBAが2024年12月金融政策決定会合で引き締め姿勢を緩和したことを背景に、短中期ゾーン中心に金利が低下する局面もありましたが、米国および豪州で雇用統計が市場予想を上振れるなど労働市場の底堅さが確認されたことや、米連邦公開市場委員会（FOMC）で今後の利下げについて慎重な姿勢が示されたことなどから豪州金利は上昇しました。
- ・なお、RBAは2025年2月中旬の理事会で基調的なインフレの鈍化などから利下げ実施を決定しました。

◎為替市況

- ・豪ドルは対円で下落しました。
- ・期間の前半において、RBAが政策金利を高水準に維持する一方、日銀が金融政策の正常化を慎重に進めていることなどから、本邦との金融政策の格差が意識され、豪ドルは対円で上昇しましたが、その後、日銀が2025年1月の金融政策決定会合で追加利上げを実施したことなどから、期間を通じて見ると豪ドルは対円で下落しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

◎組入比率

- ・期間を通じて、豪ドル建ての債券現物の組入比率は高位を維持しました。

◎デュレーション

- ・ファンド全体のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）は、豪州や米国などの金融政策、インフレ動向などを注視しながら操作しました。結果、期間末のデュレーションは2.9年程度となっています。

◎残存期間構成

- ・イールドカーブの傾きに注目するとともに、デュレーションを短期化する局面では短期ゾーンの組入比率を高めとし、長期化する局面では中長期ゾーンの組入比率を高めとしました。

◎債券種別構成

- ・豪州国債に対する相対的なスプレッド（利回り格差）動向を睨みながら、債券種別構成を調整しました。当期間は、国債の組入比率を引き下げ、非国債の組入比率を引き上げました。

○今後の運用方針

（組入比率）

- ・安定した利子収益の確保をめざし、引き続き債券現物の高位組み入れを維持する方針です。

（デュレーション）

- ・豪州の金融政策の方向性、グローバルな景気・インフレ動向を睨みながら、機動的に操作する方針です。

（残存期間構成）

- ・デュレーションを長期化する局面では中長期ゾーンを、短期化する局面では短期ゾーンの組入比率を高めとする方針です。

（債券種別構成）

- ・国債に対する相対的なスプレッド動向や市場のボラティリティ変動要因などに注視し、必要に応じて組入比率を調整する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 3 月 9 日～2025年 3 月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) そ の 他 費 用	1	0.010	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.010)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	1	0.010	
期中の平均基準価額は、13,854円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2024年 3 月 9 日～2025年 3 月10日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	オーストラリア	国債証券	千オーストラリアドル 316,927	千オーストラリアドル 310,409 (107,000)
		地方債証券	19,687	3,917
		特殊債券	213,166	162,832 (28,000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)
(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2024年3月9日～2025年3月10日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 7,286	百万円 3,124	% 42.9

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2025年3月10日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	%	%	%	%	%
オーストラリア	382,300	366,925	34,124,084	97.2	—	18.4	40.3	38.5
合 計	382,300	366,925	34,124,084	97.2	—	18.4	40.3	38.5

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
オーストラリア			%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	
国債証券	1.75 AUST GOVT 321121	1.75	2,000	1,673	155,674	2032/11/21	
	2.25 AUST GOVT 280521	2.25	10,000	9,544	887,675	2028/ 5 /21	
	2.75 AUST GOVT 271121	2.75	9,000	8,767	815,388	2027/11/21	
	2.75 AUST GOVT 281121	2.75	5,000	4,821	448,357	2028/11/21	
	2.75 AUST GOVT 291121	2.75	19,000	18,087	1,682,113	2029/11/21	
	3 AUST GOVT 331121	3.0	9,000	8,137	756,832	2033/11/21	
	3.25 AUST GOVT 250421	3.25	10,000	9,989	929,021	2025/ 4 /21	
	3.25 AUST GOVT 290421	3.25	3,000	2,935	272,965	2029/ 4 /21	
	3.5 AUST GOVT 341221	3.5	4,000	3,716	345,602	2034/12/21	
	4.75 AUST GOVT 270421	4.75	15,000	15,296	1,422,607	2027/ 4 /21	
	AUSTRALIA T-BILL 250314	—	5,000	4,996	464,634	2025/ 3 /14	
地方債証券	1.25 AUST CAPITAL 250522	1.25	9,000	8,949	832,303	2025/ 5 /22	

銘柄			当期末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
オーストラリア			%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	
	地方債証券	5.25 AUST CAPITAL 361023	5.25	7,000	6,938	645,310	2036/10/23
	特殊債券	0.5 VICTORIA 251120	0.5	2,000	1,954	181,777	2025/11/20
		1.25 NEWSWALES 250320	1.25	5,000	4,996	464,671	2025/3/20
		1.25 VICTORIA 271119	1.25	10,000	9,312	866,016	2027/11/19
		1.41 BNG BANK NV 310728	1.41	3,000	2,405	223,721	2031/7/28
		1.5 VICTORIA 301120	1.5	13,000	11,088	1,031,228	2030/11/20
		1.75 NEWSWALES 340320	1.75	10,000	7,652	711,636	2034/3/20
		2 QUEENSLAND 330822	2.0	5,000	3,985	370,656	2033/8/22
		2 VICTORIA 350917	2.0	5,000	3,695	343,658	2035/9/17
		2.15 KFW 250825	2.15	5,000	4,954	460,792	2025/8/25
		2.25 NEDER WATERS 250904	2.25	5,000	4,950	460,393	2025/9/4
		2.39 IBRD 311208	2.39	5,000	4,268	397,012	2031/12/8
		2.5 VICTORIA 291022	2.5	5,000	4,634	431,045	2029/10/22
		2.75 SOUTH AUST G 250416	2.75	2,000	1,997	185,740	2025/4/16
		2.9 EUROPEAN INVE 251017	2.9	7,000	6,947	646,110	2025/10/17
		3 NEWSWALES 280320	3.0	20,000	19,435	1,807,492	2028/3/20
		3 NEWSWALES 290420	3.0	10,000	9,580	890,967	2029/4/20
		3 NEWSWALES 300220	3.0	3,000	2,831	263,306	2030/2/20
		3 SOUTH AUST GOVT 260720	3.0	15,000	14,821	1,378,441	2026/7/20
		3 SOUTH AUST GOVT 280524	3.0	5,000	4,850	451,087	2028/5/24
		3 VICTORIA 281020	3.0	15,000	14,455	1,344,333	2028/10/20
		3 WEST AUST TREAS 261021	3.0	10,000	9,869	917,891	2026/10/21
		3.1 IADB 280222	3.1	5,000	4,868	452,751	2028/2/22
		3.2 KFW 260911	3.2	3,000	2,965	275,771	2026/9/11
		3.25 BNG BANK NV 250715	3.25	2,000	1,993	185,353	2025/7/15
		3.25 QUEENSLAND 260721	3.25	19,000	18,836	1,751,786	2026/7/21
		3.25 TASMANIAN PU 260219	3.25	5,000	4,965	461,814	2026/2/19
		3.3 ASIAN DEV 280808	3.3	5,000	4,872	453,105	2028/8/8
	3.45 NEDER WATERS 280717	3.45	10,000	9,761	907,856	2028/7/17	
	3.5 QUEENSLAND 300821	3.5	3,000	2,873	267,248	2030/8/21	
	3.6 INTL FINAN 260224	3.6	5,000	4,979	463,121	2026/2/24	
	3.7 ASIAN DEV 250617	3.7	5,000	4,992	464,332	2025/6/17	
	3.75 NORTHERN TER 330421	3.75	2,000	1,815	168,869	2033/4/21	
	4 AUSTRALIAN POST 261201	4.0	3,000	2,976	276,804	2026/12/1	
	4 INTL FINANCE CO 250403	4.0	5,000	4,999	464,938	2025/4/3	
	4.25 INTL BK RECO 250624	4.25	10,000	10,000	930,009	2025/6/24	
	4.4 IBRD 280113	4.4	3,000	3,027	281,513	2028/1/13	
	4.45 INTL FINAN 300117	4.45	5,000	5,032	468,008	2030/1/17	
	4.75 NEWSWALES 350220	4.75	5,000	4,868	452,793	2035/2/20	
	4.75 QUEENSLAND 250721	4.75	5,000	5,012	466,133	2025/7/21	
	5 AIRSERV AUST 310515	5.0	2,300	2,326	216,342	2031/5/15	
	5.25 NORTHERN TER 340321	5.25	4,000	3,982	370,381	2034/3/21	
	5.5 VICTORIA 261117	5.5	9,000	9,233	858,678	2026/11/17	
合 計						34,124,084	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2025年 3 月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 34,124,084	% 95.1
コール・ローン等、その他	1,764,485	4.9
投資信託財産総額	35,888,569	100.0

(注) 期末における外貨建純資産（35,052,508千円）の投資信託財産総額（35,888,569千円）に対する比率は97.7%です。
(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル＝93.00円			
--------------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年3月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	35,888,569,082
コール・ローン等	652,970,602
公社債(評価額)	34,124,084,189
未収入金	792,045,661
未収利息	255,550,066
前払費用	39,822,600
差入委託証拠金	24,095,964
(B) 負債	771,433,497
未払金	662,926,320
未払解約金	108,507,177
(C) 純資産総額(A－B)	35,117,135,585
元本	26,562,212,628
次期繰越損益金	8,554,922,957
(D) 受益権総口数	26,562,212,628口
1万口当たり基準価額(C／D)	13,221円

<注記事項>

- ①期首元本額 31,830,748,133円
 期中追加設定元本額 84,414,262円
 期中一部解約元本額 5,352,949,767円
 また、1口当たり純資産額は、期末13,221円です。

②期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）

三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン	25,514,088,611円
三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン（年1回決算型）	1,048,124,017円
合計	26,562,212,628円

○損益の状況 (2024年3月9日～2025年3月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,273,732,150
受取利息	1,273,687,542
その他収益金	44,973
支払利息	△ 365
(B) 有価証券売買損益	△ 1,385,124,909
売買益	706,987,941
売買損	△ 2,092,112,850
(C) 保管費用等	△ 3,864,972
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△ 115,257,731
(E) 前期繰越損益金	10,705,781,740
(F) 追加信託差損益金	31,170,693
(G) 解約差損益金	△ 2,066,771,745
(H) 計(D＋E＋F＋G)	8,554,922,957
次期繰越損益金(H)	8,554,922,957

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。